

No.15 転倒転落レベル3b以上の予防強化の取り組みについて



P（PLAN：課題設定）

- ・2023年のインシデントレポート報告件数は、総件数805件、レベル3b以上17件、頭部外傷・骨折11件であり、重大な転倒・転落事故の更なる予防対策が必要な状況でした
- ・不眠・不穏時指示薬の適正使用を推進することを課題としました
- ・離床キャッチの導入および運用を開始し、適正使用を推進することを課題としました
- ・転倒・転落アルゴリズムの活用状況を把握し、活用促進を図ることを課題としました

D（DO：実施）

- ・転倒・転落リスク評価、せん妄リスク評価およびせん妄評価（DST・ICDSC）の実施状況を確認し、評価の質向上に取り組みました
- ・不眠・不穏時指示薬については、医薬品安全責任者および医療安全管理部が病棟ラウンドを実施し、病棟配置薬の現状評価および見直しを行いました
- ・せん妄対策として、病棟ラウンドを実施し、リスク評価・せん妄評価、ケア内容の相談および患者ごとの個別相談を行いました
- ・療養環境の整備として、離床キャッチを導入・運用するとともに、使用方法および運用方法の周知を行い、適正使用を推進しました

C（CHECK：評価）

- ・転倒・転落インシデントレポートの報告件数についてデータを収集・分析し、対策の効果を評価しました
- ・医療安全管理部による定期巡視およびせん妄対策チームによる病棟ラウンドを通じて、各部署の取組状況および現状を評価しました

A（ACT：改善方針）

- ・転倒・転落予防対策について、実践状況を継続的に評価・見直し、対策の質向上に取り組んでまいります
- ・レベル3b以上の重大インシデントの発生予防に向けて、予防対策を更に強化してまいります